

令和5年度動物愛護センターオンライン及び対面式譲渡会業務委託仕様書

I 業務内容

受注者は、発注者と協議しながら次の内容を実施する。

1 動物愛護センター譲渡会の企画、実施等

オンライン及び対面式による譲渡会（保護動物を参加者に紹介すること）をAISAS（※後述）の観点から戦略的に実施することで、動物愛護センターの譲渡推進の機運の醸成及びかながわペットのいのち基金の推進を図り、保護動物の譲渡につなげる。オンライン譲渡会と対面式譲渡会は別日に行う。

(1) 実施場所

ア オンライン譲渡会

動物愛護センター内に会場を設営し、参加者は自宅からオンラインにより参加する。

イ 対面式譲渡会

動物愛護センター内に会場を設営し、参加者は動物愛護センターに行き、参加する。

(2) 実施時期及び回数

ア オンライン譲渡会

原則として、土曜日の13時頃から3～4時間程度実施し、令和6年3月17日までの間に3回実施する。実施毎に改善策をふまえて次回実施できるよう、各譲渡会の間隔を十分に確保する。

よって、令和5年8月、10月、令和6年2月に各1回、実施することが望ましい。

イ 対面式譲渡会

原則として、日曜日の9時から16時まで動物愛護センターの会場を開け、参加者がガラス越しに保護犬猫を自由に見学できるようにする。保護犬猫の場所の移動は想定していない。

11時から15時まではアニコムふれあいルーム及び1階会議室を動物愛護センター登録ボランティア用に開放し、各団体の保護犬猫を参加者に紹介できるようにする。

令和6年3月17日までの間に2回実施する。人や動物への負担を考慮し、寒暖の激しい時期は避ける。よって、令和5年11月、令和6年3月に月1回、実施することが望ましい。

(3) 実施内容の企画

次に留意し、実施内容について積極的に発注者に提案をする。

ア AISASの観点から戦略的に実施

次の2つを目指し、AISASの観点（※後述）から戦略的に各業務を実施

① 動物愛護センターの譲渡推進の機運の醸成

- 動物愛護センターにはやむを得ない事情から保護されている犬や猫がいるが、このような犬猫たちは可哀想というネガティブなイメージを持たれることも少なくない。そこで、動物愛護センターで暮らす犬や猫たちの生き生きとした個々の魅力を最大限アピールすることなどにより、ポジティブな方向性をもって動物愛護センターの取組みを紹介していく。その結果、保護犬・猫たちが一日も早く新しい飼い主と出会い、幸せに暮らすことができるように、いのちを守り、譲渡につなげる機運を醸成する。

② かながわペットのいのち基金の推進

- 本事業は、かながわペットのいのち基金を活用したものであることが分かるようにし、動物愛護センターが行う取組みへの認知度を向上させるとともに、さらなる寄附への呼びかけを行い、保護動物の譲渡推進へつなげる。

イ メインターゲットはAISASの観点から戦略的に選定し、集客は1日当たり200名以上を目標

ウ 出演する動物愛護センター登録ボランティアとの調整

登録ボランティアとの連絡調整を実施し、必要に応じて事前説明会を行う。

連絡調整とは、各団体が不公平にならないような会場の配置、必要備品の聴取り等を含む。

- エ 参加者の保護犬猫の譲受希望率の向上策の提案
 - ・紹介する保護犬猫の魅力がより伝わるような演出や譲受に関する不安を取除く方策を実施する。
- オ スケジュール管理
 - ・本事業を円滑に実施できるようスケジュール管理をし、定期的に発注者と共有する。
- カ 参加者へのアンケート項目の立案、調査、分析及び分析結果に基づく改善策の提案
 - ・AISASの観点から戦略的にアンケート項目の立案、調査、分析及び分析結果に基づくAISASの指標の改善策の提案を行うとともに、回答率を増やす工夫をする。
- キ オンライン会議システム及びYouTubeによる同時配信の活用（オンライン譲渡会の場合）
 - ・参加者は各家庭から参加し、主催者と双方向でのリアルタイムでのコミュニケーションが活発に行われるように工夫する。
 - ・参加者がリアルタイムで参加している感覚が得られる演出を積極的に行う。
 - ・閲覧参加を希望する方向けに、YouTubeによる同時配信も行う。YouTube動画を後日視聴できるように、事前に参加者や関係者の了承を取るようにする。
- ク 進行台本、投影スライド、動物紹介ボード等の作成（オンライン譲渡会の場合）
 - ・進行台本、投影スライド、動物紹介ボード、その他保護動物の効果的な紹介のために必要な制作物を作成する。なお、令和4年度のオンライン譲渡会で使用した制作物を参照することができる。
 - ・各資料の誤字脱字の確認は受注者が十分に行った上で、発注者に内容確認を依頼する。

※ AISASの観点

各指標	各指標の現状、実績等	具体策の提案方法
1 Attention (認知) ・動物愛護センター及びかながわペットのいのち基金（以下「いのち基金」）の認知	<ul style="list-style-type: none"> ・フォロワー数（令和5年2月） <ul style="list-style-type: none"> -Facebook：2,075 -Twitter：1,560 -Instagram：2,585 ・平均リーチ数（令和5年2月） <ul style="list-style-type: none"> -Facebook：1,380 -Twitter：1,665 -Instagram：1,120 	認知を向上させるための具体策を提案してください。
2 Interest (興味) ・保護動物の譲受やいのち基金への興味	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度オンライン譲渡会 <ul style="list-style-type: none"> -平均申込者数 261名 -譲渡会自体初参加率約 82% 	興味を持たせるとともに、「検索」「行動」につなげるための具体策を提案してください。
3 Search (検索) ・譲受方法やいのち基金への寄附方法について情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護センターのウェブサイトのアクセス数：530件/日 	検索数を増やすとともに、「行動」につなげるための具体策を提案してください。
4 Action (行動) ・保護動物の譲受、いのち基金への寄附	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン譲渡会参加者の譲受希望率：61% ・保護動物の県民への譲渡数 犬：5頭/月平均 猫：16頭/月平均 ・いのち基金の寄附額 月平均：524万円 	行動を増やす具体策を提案してください。
5 Share (共有) ・譲受体験や寄附体験を口コミで広げる	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン譲渡会全参加者数：894名 ・SNSでの口コミ数：5件 ・SNSでの口コミ率：0.56% 	口コミを起こす具体策を提案してください。
AISASの循環の結果	<ul style="list-style-type: none"> R3年度一般譲渡率：42%(265/627) R3年度いのち基金寄附額：62,864千円 	AISASの循環を効果的に行うための具体策を提案してください。

※各指標の現状、実績等は一例であり、各指標を効果的に向上させるための具体策を提案してください。

(4) 譲渡会の集客、申込受付及び記録作成

- ・主に神奈川県動物愛護センターの管轄区域内（横浜市、川崎市及び横須賀市を除く神奈川県内）におけるペットの飼育を検討している層に対して、SNS広告やアナログ媒体等を駆使して、積極的な集客を行う。
- ・集客のための効果的なキャッチコピーや文面については受注者が発注者に提案する。
- ・動物愛護センターの公式フェイスブック、ツイッター及びインスタグラムを積極的に活用する。
- ・集客を行う際には、動物愛護センターの公式フェイスブック、ツイッター及びインスタグラムのフォロワー数や動物愛護センターのホームページの閲覧者数の増加につながるよう、長期的な展望で集客効果が得られるようにする。
- ・申込受付及び記録作成をし、申込者との連絡調整を行う。
- ・対面式譲渡会の場合は、上記に加えて、混雑防止の観点から1時間ごとの定員上限を定めて申込受付をする。定員の上限は1時間当たり60名が望ましい。

(5) 会場（動物愛護センター内）の設計・設営・撤収、オンライン及び対面式譲渡会の運営・進行

ア オンライン譲渡会

(PC等について)

- ・会場（動物愛護センター内）の通信環境が悪いため、有線回線に接続している動物愛護センター内のPCにより、オンライン会議システムに接続する。
- ・当該PCは次のスペックのもの1台のみであり、動物愛護センター外への持出しはできない。また、オンライン会議システム等、必要なソフトは受注者が用意し、かつ事前にPCの設定が必要な場合は、動物愛護センターの開所時間に行う。
 - Windows10 pro
 - CPU Core i7
 - メモリ 16GB×2 32GB
 - グラフィックボード付き
 - Microsoft Office 関連 (word/excel/ppt) (Windows2016)
 - 次のソフトをインストールできる（必要なソフトは受注者が用意すること）
Zoom（映像配信プラットフォーム）、OBS（音声・映像を圧縮するソフト）、
Black Magic AtemControl（スイッチングソフト）ATEM スイッチャー 8.6.4 アップデート
- ・有線回線に接続できるPCは上記1台のみであるため、その他に譲渡会実施に必要な通信環境やPCは受注者が用意する。
※外部のPCは動物愛護センターの有線回線に接続できない。

(司会者について)

- ・司会者を用意し、オンライン譲渡会を円滑かつ魅力的に進行する。
- ・なお、司会者は保護動物を譲り受けた経験がある等、保護動物についての知識を持ち合わせた者であることが望ましい。

イ 対面式譲渡会

- ・動物愛護センターの駐車場が50台であることに留意し、参加者（来場者）が円滑かつ事故なく出入りができるよう駐車場誘導を行う。駐車場配置図は仕様書別添のとおり。
- ・受付係を設置する等して、来所者を把握する。設定定員に余裕があれば当日の飛入参加も可とする。
- ・会場設営を行う。特にアニコムふれあいルームや会議室を動物愛護センター登録ボランティアが使用しやすいように机等の設置を行う。また、必要に応じて新型コロナウイルス感染症蔓延防止等に係る注意書き（手洗い場の場所の明示等）や会場案内の掲示を行う。
- ・参加者が自由に見学する形式であるため、特段、司会者等による進行は想定していない。

ウ 共通事項

- ・必要に応じて会場に出入りする者の検温の実施記録を発注者に提出する他、新型コロナウイルス感染症蔓延防止及び参加者や関係者の安全の確保を講じる。

(6) 譲渡会実施毎の報告書と改善提案書の提出及び年度末の実績報告書の作成

- ・各譲渡会の申込人数、参加人数、参加率（参加人数/申込人数）、実施した広報の効果（申込人数/周知数）、アンケート結果はもとより、各譲渡会により、AISASの指標（認知、興味、検索、行動、共有の指標）がどのように変化したのかの分析結果及び各指標の改善策を含めた報告書を作成し、各譲渡会の実施後3週間以内に発注者へ提出する。
- ・最終的に、AISASの観点から全ての譲渡会を総括した令和5年度事業の実績報告書を作成し、文書1部と電子データ一式を、令和6年3月29日までに発注者に提出する。

II その他

1 留意事項

- (1) 当該事業の内容は本仕様書及びプロポーザルの内容を基本とし、契約後発注者と受注者が協議し、企画調整した上で決定し、実施する。
- (2) 受注者は、発注者との協議の結果を反映した当該業務の実施に必要な企画書を速やかに作成し、提出する。
- (3) 委託期間中に生じた事由により、当初の予定通り実施できなくなった場合は、早急に代替案について発注者と協議し、委託業務に支障をきたさないように対応すること。
- (4) 本事業は原則として再委託できない。ただし、総合的な事業実施の必要に応じ、事前に県の承認を得た上で、受注者を主たる事業者とし、事業の一部について再委託を認める場合がある。
- (5) 本仕様書に明示のない事項、又は業務上疑義が発生した場合においては、発注者と十分協議を行い、業務を進めること。

2 運営上の要件

(1) 実施体制

- ① 事業全体をとりまとめる総括責任者（本事業の遂行に関し、業務に必要な能力及び経験を有する者）を定めると共に、業務実施体制を明らかにし、業務全般の活動を一元化する。
- ② 担当者配置後、業務実施体制を、速やかに書面により発注者へ報告する。再委託（事業の一部に限る）を行う場合は、各事業者の業務分担及び再委託先の連絡先も明記する。

(2) 発注者との協議

事業の推進にあたっては、発注者と綿密な調整を図りながら進めることとし、電子メール等により随時報告を行う。

3 著作権等について

- (1) 本事業の成果物の所有権及び著作権（著作権法第27条及び28条を含む。）については、成果物が納品されたときに、受注者から発注者に移転するものとする。また、受注者は、発注者が認めた場合を除き、著作者人格権を行使してはならない。
- (2) 成果物に第三者が権利を有する著作権が含まれている場合は、受注者は当該著作権の使用に関する負担金の一切の手続きを行い、第三者の著作権その他の権利を侵害してはならない。
- (3) 契約期間終了後に、県が広報媒体等を活用して活動実績の事後啓発を行うに当たり、著作権使用料等が別途発生する場合は、その全てを契約金額内に含めることとする。